

活動報告及び施策提案

～民生委員・児童委員インターンシップを通して～

D班

本インターンシップの目的

- ▶ **大学生の視点**から,民生委員活動における**利点,疑問点,課題点**を捉える.
- ▶ 民生委員の**課題点**から**施策**を提案する.
- ▶ **担い手不足解消の為の施策**を提案する.

D班の概要

大学 大阪大谷大学, 大阪教育大学
大阪府立大学, 関西大学
関西学院大学

市町村 和泉市, 堺市, 四條畷市, 高石市

D班の概要

活動内容 実際の民生委員活動を経験.

- ▶ 民生委員との関わり
- ▶ サロンの運営補助
- ▶ イベントへの参加
- ▶ 高齢者宅への訪問 等

活動を通して学んだこと (利点)

- ▶ 民生委員も地域住民なので、
地域のことをよく分かっている。
- ▶ 地域の特色に合わせた活動を展開。
- ▶ 行政と住民の橋渡しの役割。
- ▶ 独居高齢者の見守り訪問。

活動を通して学んだこと (疑問点)

- ▶ 無報酬にも関わらず,活動量が膨大.
- ▶ 個人情報保護の線引き.
- ▶ 生産年齢人口との関わりが希薄.
- ▶ 民生委員自身も高齢であり,
活動を行う際の負担.

活動を通して学んだこと (課題点)

- ▶ 社協や市町村との**連携**.
- ▶ 民生委員を行う上での**負担**.
- ▶ 地域における**認知度の低さ**.
- ▶ **担い手を確保**する為の認知度向上.

焦点化した課題

連携

- 市町村や社協と連携することで、仕事を明確化。
- 密に連携を取ることで、地区の情報共有。

負担軽減

- 民生委員を補助するボランティアの募集。
- サロンやイベント運営時の人的資源に繋がる。

認知度向上

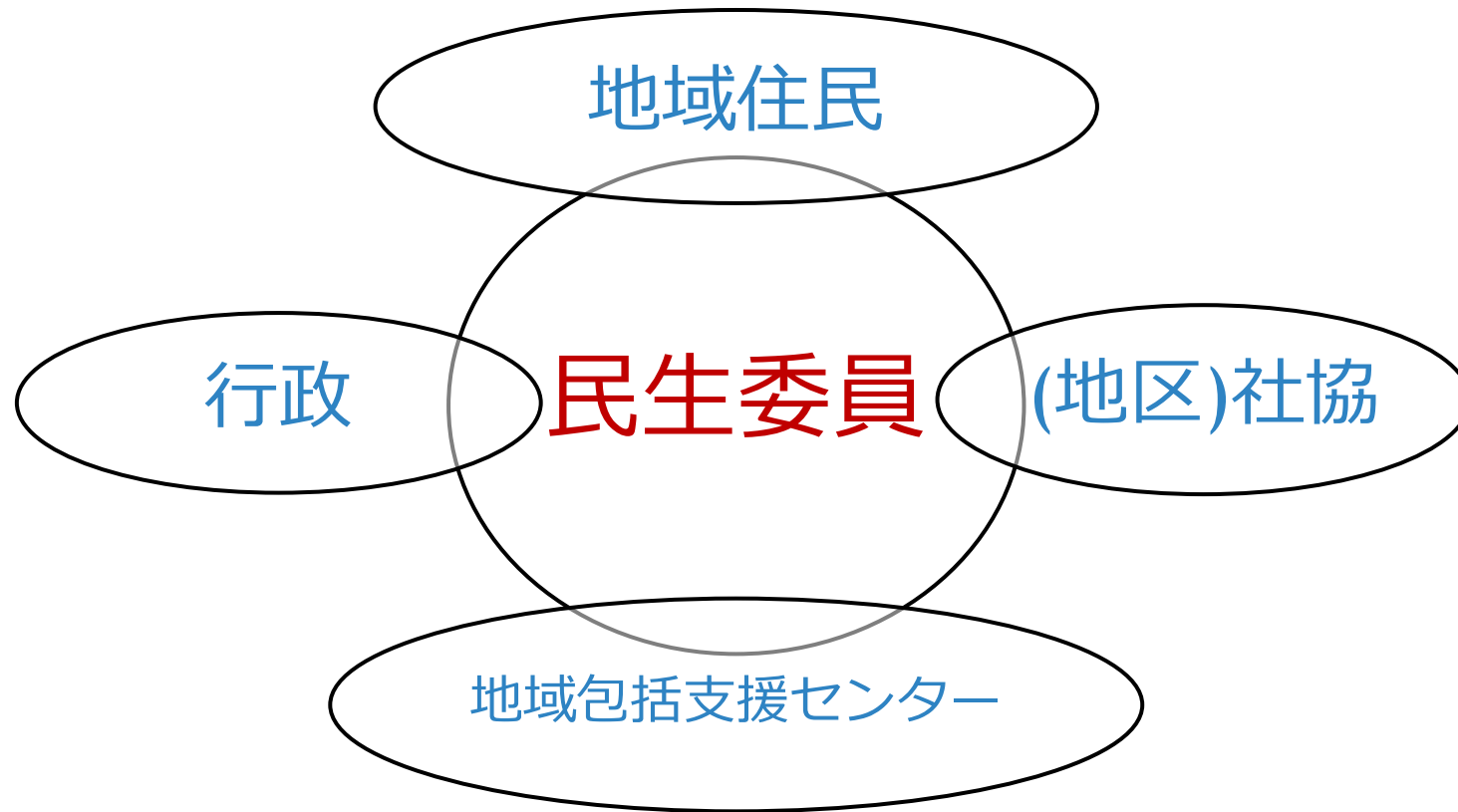
- まずは、民生委員の認知度向上を行う。
- 認知度向上から、将来を見据えた担い手確保へ繋げていく。

→ PR資料で、認知度向上を目指す。

課題解決への提案 (連携)

- ▶ 民生委員と多職種連携
→ 民生委員は専門職ではないが、
住民だからこそ分かる点がある。
- ▶ その為、地区の情報交換を行う為の、
会議を開催。

課題解決への提案 (連携)



課題解決への提案 (連携)

内容	具体的内容
What	地区単位で,関係機関と連携する.
Why	地区内の情報交換の為.
Whom	民生委員,行政,社協,地区社協 地域包括支援センター,(学校) 等
When	1回/1カ月
Where	会議室,公民館 等
How	社協から,他機関に働きかける.

課題解決への提案 (負担軽減)

- ▶ 民生委員活動の負担軽減の為、
ボランティアを導入。
- ▶ ボランティアを採用することで、
民生委員ではない人も、
活動に関わることが可能。

課題解決への提案 (負担軽減)

何故、ボランティアなのか？

- ▶ 気軽に参加可能。(手続きが安易)
- ▶ 募集方法が豊富.
- ▶ 様々な年代が,民生委員と交流可能.

課題解決への提案 (負担軽減)

内容	具体的内容
What	ボランティアを集める.
Why	民生委員の負担軽減.
Whom	問わない.
When	各イベント, サロン毎.
How	ボランティアコーディネート方式.
How Much	ボランティア保険.

施策提案のまとめ

連携：会議を開き,地区の課題共有.
→ 民生委員と他機関との連携.

負担軽減：ボランティア導入.
→ 民生委員が身近に.

おわりに (感想)

インターン中, 凄く楽しかった.
民生委員の実際を知れてよかった.
民生委員の方はイキイキとしてる.
大学生の視点から, 民生委員の課題を,
考えることの重要性に気付いた.

おわりに

課題点は大学生の視点から.

→ 新たな視点の必要性.

民生委員は地域に必要不可欠.

→ これからも頑張ってください.

ご清聴ありがとうございました。

ご質問,ご意見等ございましたら,お気軽にどうぞ。

*本資料は「民生委員・児童委員活動の見える化プロジェクト（大阪府福祉部地域福祉推進室地域福祉課）」の取組みにより作成したものです。